事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　00652　熊谷市スポーツ協会補助事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	002　熊谷市スポーツ協会補助事業				
詳細事務事業	001　熊谷市スポーツ協会補助事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	２	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	スポーツ協会の会計は適切に処理されており、市民へのスポーツの普及はもとより、加盟競技団体の振興にも寄与している。				

【事業分析】

対象	公益財団法人熊谷市スポーツ協会
目的	本市のスポーツを振興する。
手段	公益財団法人熊谷市スポーツ協会に対し、補助金を交付する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	5,633	5,711	5,000	5,000	0	0	0
事業費	5,000	5,000	5,000	5,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,000	5,000	5,000	5,000	0	0	0
人件費計	633	711	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.08	0.09	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-06-01-00-00	熊谷市スポーツ協会補助事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　00652　熊谷市スポーツ協会補助事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
スポーツ協会の加盟団体数	団体	28.00 28.00	28.00 28.00	28.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
スポーツ協会の加盟者数	人	12,800.00 10,964.00	12,800.00 10,778.00	12,800.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	本市のスポーツ振興のため、継続して実施する必要がある。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　01085　スポーツ推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	003　スポーツ推進事業				
詳細事務事業	001　スポーツ推進事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	スポーツ基本法、熊谷市スポーツ推進委員に関する規則、スポーツ推進計画				
課題・分析	事業内容を精査し、経費削減に努めた。				

【事業分析】

対象	市民
目的	大会の開催やスポーツ団体への支援を通して、スポーツの推進及び市民へのスポーツの普及を図る。
手段	スポーツ推進審議会の運営、スポーツ推進委員の活動支援、市総合スポーツ大会、スポーツ教室の開催委託、スポーツレクリエーション団体及び大会への補助、全国大会等に係る補助。各種スポーツ大会の実施、野外活動事業、体力測定等の実施。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	32,922	36,875	9,679	9,664	0	0	0
事業費	8,504	8,470	9,679	9,664	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,504	8,470	9,679	9,664	0	0	0
人件費計	24,418	28,405	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.00	3.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.65	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-03-01-00-00	スポーツ推進事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　01085　スポーツ推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
スポーツ教室種目数	種目	18.00 18.00	18.00 18.00	18.00 0.00	18.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
スポーツ教室参加者数	人	2,100.00 2,289.00	2,100.00 2,634.00	2,100.00 0.00	2,100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
卓球親善大会の実施回数	回	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
卓球親善大会参加者数	人	100.00 112.00	100.00 114.00	100.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　01384　口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	004　口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業				
詳細事務事業	001　口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		
根拠法令等	熊谷市市民の歯と口の健康づくりを推進する条例、熊谷市口腔外傷防止用具補助事業実施要綱				
課題・分析	制度の普及のためのＰＲを行う。				

【事業分析】

対象	口腔外傷防止用具（マウスガード）を作製した市内在住・在学する学生。
目的	歯と口の健康づくりを通して、地域住民のスポーツによる健康づくりを支援し、健康寿命の延伸、健康で質の高い生活の維持向上を図る。
手段	口腔外傷防止用具（マウスガード）の作製に対し補助を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,429	1,448	1,000	1,000	0	0	0
事業費	595	753	1,000	1,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	595	753	1,000	1,000	0	0	0
人件費計	834	695	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.05	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.20	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-29-01-00-00	口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　01384　口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
マウスガード補助対象者	人	300.00 135.00	300.00 171.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　00008　熊谷さくらマラソン大会事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	006　熊谷さくらマラソン大会事業				
詳細事務事業	001　熊谷さくらマラソン大会事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	令和７年３月１６日（日）に第３５回熊谷さくらマラソン大会を開催した。全国各地から５，１１１名の参加（申込）があった一方で、大会当日は悪天候に見舞われ悪天候時の大会運営に課題が残った。昨今の情勢による大会運営費の高騰がある中で、いかに参加者数を増やしていくかという課題も残る。				

【事業分析】

対象	市民及び全国各地からの市民ランナー
目的	市民及び全国各地からの市民ランナーの参加するマラソン大会を実施し、本市をＰＲするとともに、健康の増進、体力の向上を図る。
手段	市スポーツ協会をはじめ関係機関・団体等の協力による実行委員会を組織して補助金を交付し、多くの市民ランナーが参加できるよう実行委員会が企画・運営を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	16,825	27,128	5,000	0	0	0	0
事業費	5,000	5,000	5,000	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,000	5,000	5,000	0	0	0	0
人件費計	11,825	22,128	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.25	2.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	1.00	1.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-07-01-00-00	熊谷さくらマラソン大会事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　00008　熊谷さくらマラソン大会事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
実施回数	回	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
参加申込数	人	7,000.00 5,169.00	6,000.00 5,111.00	6,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由	本市における一大イベントのひとつであるため			
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	第３４回大会に続き、通常開催により第３５回大会を開催したが、依然としてコロナ以前の参加者数には及ばない状況となっているが、定員を第３３回、第３４回大会の実績に基づき、見直しを行うことで経費削減を図った結果、前回大会を超える1,852,357円を繰り越すことができた。 物価高騰等による大会運営は厳しい状況ではあるものの、２大会連続で繰越金の増額ができていることから、令和８年度においては現状維持としたい。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　00009　高校女子サッカー大会（めぬまカップ）事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	007　高校女子サッカー大会（めぬまカップ）事業				
詳細事務事業	001　高校女子サッカー大会（めぬまカップ）事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	全国から４８チームを選出して大会開催。参加者数1,000人以上を維持している。目的とする女子サッカーの技術やレベルの向上に繋がっており、引き続き全国に本市のＰＲを行い、スポーツによる地域の活性化に努める。				

【事業分析】

対象	大会参加チーム及び市民
目的	全国から高校女子サッカーの優秀なチームを本市に招待し、大会を通じて女子サッカーの技術やレベルの向上を図るとともに、大会を盛り上げる企画などで全国に本市のＰＲを行い、スポーツによる地域の活性化を図る。
手段	選抜高校女子サッカー大会「めぬまカップ」in熊谷を開催するため、実行委員会に対し補助金を交付し、実行委員会が企画・運営を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	12,781	14,251	4,000	4,000	0	0	0
事業費	4,000	4,000	4,000	4,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,000	4,000	4,000	4,000	0	0	0
人件費計	8,781	10,251	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.50	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-08-01-00-00	高校女子サッカー大会（めぬまカップ）事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　00009　高校女子サッカー大会（めぬまカップ）事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
参加チーム	チーム	48.00 43.00	48.00 48.00	48.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
参加者数	人	1,500.00 1,235.00	1,500.00 1,138.00	1,200.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　01782　スクマム！クマガヤ推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	010　スクマム！クマガヤ推進事業				
詳細事務事業	001　スクマム！クマガヤ推進事業				
事業期間	令和 6年度 ～ 令和 7年度	2　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	【課題】 庁内及び市内外における「スクマム！クマガヤ」の認知度 【分析】 ＲＷＣ２０１９を機にラグビータウン熊谷の新たなスローガンとして誕生したスクマムだが、 「ラグビータウン推進課」から「スポーツタウン推進課」へと変化する中で新たなブランディング・庁内外への 認知度の向上が必要であると考える。				

【事業分析】

対象	市民
目的	ラグビータウン熊谷を推進していくとともに、ラグビータウンとして市民が自主的に展開するまちを目指す。
手段	①ホームページでのスクマム！クマガヤに関連した情報の発信　②市内ラグビーチームの支援　③熊谷ラグビー場での試合時におけるイベントの実施と支援
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	22,689	12,879	5,390	5,207	0	0	0
事業費	7,789	4,900	5,390	5,207	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,788	4,900	5,390	5,207	0	0	0
人件費計	14,900	7,979	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.80	1.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-33-01-00-00	スクマム！クマガヤ推進事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　01782　スクマム！クマガヤ推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
スクマム利用申請・届出数	件	100.00 106.00	100.00 79.00	100.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
スクマムLINEスタ利用者数	人	650.00 242.00	400.00 80.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　01862　ワイルドナイツ連携事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	011　ワイルドナイツ連携事業				
詳細事務事業	001　ワイルドナイツ連携事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	令和3年8月、埼玉パナソニックワイルドナイツが熊谷へ本拠地を移転した。将来、少なくとも35年は熊谷を拠点として活動をしていくこととなる。チームとの関係性を構築し、チームと連携しながらラグビータウン熊谷の持続可能性の確保を図る必要がある。ラグビーが生活に溶け込んだ活気のある魅力的なまちづくりを推進するため、チームや埼玉県ラグビー協会と連携し、各種事業を展開する。 平成31年3月27日　埼玉県、熊谷市及びパナソニック株式会社とのラグビーフットボールを通じた地域振興等に関する協定を締結。令和2年7月14日　埼玉県ラグビー協会によるクラブハウス等建設計画の発表。同時に完成後の本拠地移転についてチームから表明。令和3年8月　本市に本拠地を移転。				

【事業分析】

対象	
目的	チームの存在がより幅広く市民に浸透していくことで、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となることを期待する。チームを通じラグビータウン熊谷を全国へ発信するとともに、市民のラグビーに対する関心の向上、熊谷市への愛着形成及びファン層の拡大を図る。
手段	チームのホームタウン活動の共有や情報交換、各種調査などを行い、同活動を支援する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	25,420	7,012	11,248	13,174	0	0	0
事業費	15,293	5,148	11,248	13,174	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,293	5,148	11,248	13,174	0	0	0
人件費計	10,127	1,864	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.25	0.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.25	0.16	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-35-01-00-00	ワイルドナイツ連携事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　01862　ワイルドナイツ連携事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
応援バスツアー参加者	人/回	50.00 160.00	50.00 120.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　02059　パブリックビューイング事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	016　パブリックビューイング事業				
詳細事務事業	001　パブリックビューイング事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	【課題】 物価や人件費の高騰による委託費用の高騰。 【分析】 来場者アンケートの結果から、好評であることが分析できる。ホストゲーム観戦の動機付けに繋げるためにも、継続的に実施することで文化として根付かせたい。				

【事業分析】

対象	市民、ファン
目的	PVの実施により、より多くのラグビー試合観戦機会を設け、ラグビーを身近に感じることのできる環境を市民に提供することで、更なるラグビータウンの推進を図る。また、市民が一体となって応援する風土づくりと地域の一体感の醸成を図ることを目的とする。
手段	パブリックビューイングの実施
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	14,536	5,372	6,870	7,693	0	0	0
事業費	11,676	4,582	6,870	7,693	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,676	4,582	6,870	7,693	0	0	0
人件費計	2,860	790	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.30	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-39-01-00-00	パブリックビューイング事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　02059　パブリックビューイング事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
平均来場者数	人	100.00 110.00	100.00 117.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　02133　プロスポーツチーム等連携事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001　生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事務事業	019　プロスポーツチーム等連携事業				
詳細事務事業	001　プロスポーツチーム等連携事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	スポーツ基本法、熊谷市スポーツ振興まちづくり条例				
課題・分析	４つのプロスポーツチーム等が本市をホームタウンとして活動している強みを活かし、チームとの連携・支援を更に強化することで、市民がスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、交流人口の拡大を図り、スポーツによる地域の活性化を推進することが可能となる。				

【事業分析】

対象	市民及び市外からの来訪者
目的	プロスポーツチームや埼玉県、関連団体等と連携し、スポーツ振興及びホームゲーム時の賑わい創出等を図り、スポーツによるまちづくりを推進する。
手段	①本市をホームタウンとして活動するプロスポーツチーム等の支援 ②ホームゲーム時の賑わい創出、イベント支援 ③プロスポーツチーム等に関連した情報発信・PR
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	9,603	2,385	5,321	0	0	0
事業費	0	1,597	2,385	5,321	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	1,597	2,385	5,321	0	0	0
人件費計	0	8,006	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	1.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　02133　プロスポーツチーム等連携事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
プロスポーツチームホームゲーム平均観戦者数	人/試合	0.00 0.00	11,500.00 9,905.00	11,500.00 0.00	11,500.00 0.00	11,500.00 0.00	11,500.00 0.00	11,500.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	新たに「デザインマンホール製作、設置事業」を実施する。		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　00655　武道館管理運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	002　スポーツ環境の充実を図る				
施策達成課題	001　スポーツ環境の充実を図る				
基本事務事業	001　武道館管理運営経費				
詳細事務事業	001　武道館管理運営経費				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市立武道館条例				
課題・分析	定期利用以外の団体等への周知が図られ、定期利用以外の利用や弓道場の個人利用が増加傾向にある。				

【事業分析】

対象	市民
目的	武道を通じて、健全な心身の発達を図り、スポーツによるまちづくりを推進することを目的とする。
手段	武道館の適正な運営管理を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	3,160	3,337	3,482	4,366	0	0	0
事業費	2,909	3,073	3,482	4,366	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	809	807	780	780	0	0	0
一般財源	2,100	2,266	2,702	3,586	0	0	0
人件費計	251	264	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-23-01-00-00	武道館管理運営経費	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　00655　武道館管理運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
武道館利用件数	件	790.00 720.00	790.00 743.00	790.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
武道館開館日数	日	309.00 300.00	309.00 298.00	309.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	令和８年度について、定期団体・一般団体利用数は微増と見込む。また、敷地内の樹木が成長し、一部電線を覆っているため、業者剪定の予算を新たに追加した。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　01219　体育施設等管理運営経費　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	002　スポーツ環境の充実を図る				
施策達成課題	001　スポーツ環境の充実を図る				
基本事務事業	002　体育施設等管理運営経費				
詳細事務事業	001　体育施設等管理運営経費				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市立体育施設条例、熊谷市立総合グラウンド条例、熊谷市スポーツ振興まちづくり条例				
課題・分析	指定管理者制度において、市民体育館、大里体育館、江南体育館、籠原体育館、大里総合グラウンド及び江南総合グラウンドの管理を（公財）熊谷市スポーツ協会が行っている。別府体育館は令和7年度から直営管理を行っている。施設の修繕については、指定管理者が130万円までの小規模修繕、市が大規模改修の実施区分であるが、各施設老朽化が進んでいるため計画的な改修が必要となる。				

【事業分析】

対象	市民
目的	市民体育館、別府体育館、大里体育館、江南体育館、籠原体育館、大里総合グラウンド及び江南総合グラウンドを適正に管理運営する。また、施設整備によりスポーツ環境の充実を図る。
手段	指定管理者制度を導入し、適正に管理運営する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	422,202	84,709	76,602	142,679	0	0	0
事業費	419,673	76,616	76,602	142,679	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	421	423	0	0	0	0
一般財源	419,673	76,195	76,179	142,679	0	0	0
人件費計	2,529	8,093	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.31	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-26-01-00-00	体育施設等管理運営経費	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　01219　体育施設等管理運営経費

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
体育館数	館	5.00 5.00	5.00 5.00	4.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
利用件数	件	4,600.00 5,711.00	6,000.00 5,375.00	6,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
グラウンド数	箇所	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
利用件数	件	1,600.00 1,617.00	1,600.00 1,323.00	1,600.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	籠原体育館の耐震化を行う必要がある（個別施設計画ではR4年度耐震診断、R5補強設計、R6工事）ことから、R8年度に耐震診断を実施し、その結果を踏まえ、R9年度に設計委託、R10年度に耐震化工事を実施する（実施計画立案で作成）。 大里・江南総合グラウンドの夜間照明（水銀灯）について、経年による照度劣化が進行するとともに水銀灯の生産中止により補修が困難な状況にあるため、LED化する改修工事を実施する。 また、大里、江南、籠原体育館について、夏季における利用者の熱中症対策を図るため、大型冷風機を各施設1台設置する。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　01407　スポーツ振興基金積立事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	002　スポーツ環境の充実を図る				
施策達成課題	001　スポーツ環境の充実を図る				
基本事務事業	003　スポーツ振興基金積立事業				
詳細事務事業	001　スポーツ振興基金積立事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市スポーツ振興基金条例、スポーツ振興基金の活用による補助金交付に関する要綱				
課題・分析					

【事業分析】

対象	本市のスポーツ振興を図るために、広く市民から寄付金を募る
目的	活力ある地域社会の形成に資する
手段	熊谷市スポーツ振興基金を設置する
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	8,819	8,734	88	64	0	0	0
事業費	8,644	8,655	88	64	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,027	8,222	87	63	0	0	0
一般財源	617	433	1	1	0	0	0
人件費計	175	79	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-28-01-00-00	スポーツ振興基金積立事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　01407　スポーツ振興基金積立事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　01832　荒川公園周辺再整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	002　スポーツ環境の充実を図る				
施策達成課題	001　スポーツ環境の充実を図る				
基本事務事業	005　荒川公園周辺再整備事業				
詳細事務事業	001　荒川公園周辺再整備事業				
事業期間	令和 3年度 ～ 令和12年度	10　年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市個別施設計画				
課題・分析	【課題】①現市民体育館は新耐震基準（S56年）を満たしておらず、空調も整備されていないことから防災面や総合振興計画に掲げる「スポーツによるまちづくり」を推進するうえで、時代のニーズに対応していない。②事業計画地が「第一種住居地域」であることから、現状の規模（現市民体育館）の建て替えにおいても、都市計画変更や条例の制定等が求められる。③現市民体育館側に新体育館を建設する場合、公園区域の拡大に伴う都市計画変更が必須。④新体育館を公園施設にする場合、建蔽率上限緩和に係る公園条例の改正が必須。⑤廃道や道路拡幅等に伴う議決や警察協議、地元住民同意等が求められる。 【分析】庁内検討会や有識者会議等により事業の透明性を図りながら、本市の更なる発展と次世代に繋げるための再整備を計画的に進めることが求められている。				

【事業分析】

対象	現市民体育館敷地及び荒川公園周辺エリア
目的	次世代を見据えたスポーツアリーナ及び都市公園に求められる機能、施設計画の条件等を整理し、施設の基本的な計画内容をまとめるとともに、民活手法による事業の実施可能性について評価を行う。
手段	
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	18,110	11,900	42,700	27,852	0	0	0
事業費	878	50	42,700	27,852	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	878	50	42,700	27,852	0	0	0
人件費計	17,232	11,850	0	0	0	0	0
一般職員（人）	2.25	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-34-01-00-00	荒川公園周辺再整備事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　01832　荒川公園周辺再整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　02215　星宮体育館等管理運営事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001　スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	002　スポーツ環境の充実を図る				
施策達成課題	001　スポーツ環境の充実を図る				
基本事務事業	011　星宮体育館等管理運営事業				
詳細事務事業	001　星宮体育館等管理運営事業				
事業期間	令和 7年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市個別施設計画（⑫公園・スポーツ施設編　40頁、66頁）				
課題・分析	令和4年度をもって廃校となった旧星宮小学校体育館を地域体育館として開放することで、スポーツを実践する機会の創出を図る。また、教育委員会社会教育課市史編さん室の事務所を校舎へ移転することで、古文書等の一元管理をすることができ、本市の歴史的文化遺産の保護・継承を図る。さらに廃校の利活用により、開校時から続く災害時の避難所としての機能を維持することが期待できる。				

【事業分析】

対象	熊谷市民をはじめとする近隣市町村の利用者等
目的	「地域体育館」として旧星宮小学校体育館を利活用することで、本市のスポーツ推進を図る。また、教育委員会社会教育課市史編さん室が校舎へ事務所移転をすることで、古文書等の一元管理を図る。
手段	跡地利活用、機能移転
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	0	14,210	21,625	0	0	0
事業費	0	0	14,210	21,625	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	159	159	0	0	0
一般財源	0	0	14,051	21,466	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　02215　星宮体育館等管理運営事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
利用件数		0.00	0.00	204.00	486.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	電気機器の更新と照明のLED化及びトイレの一部改修により、事務所兼避難所機能の確保と施設改善を図る。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　01723　スポーツコミッション事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	002　スポーツツーリズムを推進する				
施策	001　熊谷スポーツコミッションを推進する				
施策達成課題	001　熊谷スポーツコミッションを推進する				
基本事務事業	008　スポーツコミッション事業				
詳細事務事業	001　スポーツコミッション事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	大規模大会の運営を主管する県のスポーツ団体に対し積極的に誘致活動を行い、全国規模の大会を２大会、関東規模の大会を６大会、計８大会を誘致して支援することで、交流人口の拡大を図ることができた。 大会参加者、関係者に対してアンケート調査を実施し、市内や周辺観光の予定があるか確認したところ、全体の85%の人が観光の予定がないと回答しており、来訪者を観光にどう繋げるかが課題となっている。				

【事業分析】

対象	関東大会以上のスポーツ大会を主催する団体及び来訪者
目的	大規模スポーツ大会の誘致等に取り組み、スポーツを通じた交流人口の拡大を図るとともに、観光事業とも密接に連携し地域経済の活性化を目指す。
手段	市、熊谷商工会議所、（一社）熊谷市観光協会、（公財）熊谷市スポーツ協会及び事業に密接に関連する事業者との連携
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	16,349	17,599	5,999	7,054	0	0	0
事業費	5,803	4,722	5,999	7,054	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,803	4,722	5,999	7,054	0	0	0
人件費計	10,546	12,877	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.37	1.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-31-01-00-00	スポーツコミッション事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　01723　スポーツコミッション事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
関東大会以上の大規模大会	件	8.00 8.00	8.00 8.00	10.00 0.00	10.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	1
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課　　担当者
短縮番号　00007　ラグビータウン熊谷推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	002　スポーツツーリズムを推進する				
施策	002　スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する				
施策達成課題	001　スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する				
基本事務事業	002　ラグビータウン熊谷推進事業				
詳細事務事業	001　ラグビータウン熊谷推進事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	課題 ①全国高校選抜ラグビーフットボール大会において、補助金を出しているにもかかわらず、別で消耗品等を支出している項目がある。 分析 ①ラグビーポスター展は、小中学生がラグビーを知る良い機会となっており、ラグビータウンの推進において、効果が見られる一方、教育現場において業務の負担となっている。				

【事業分析】

対象	市民
目的	熊谷ラグビー場を活用し本市の振興と活性化を図るとともに、ラグビータウン熊谷を全国に発信する。
手段	大会、イベントを契機に。 ①全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会への支援と規模拡大の働きかけ　②集客力のある公式戦（日本代表戦を含む）、定期戦の誘致　③７人制ラグビーの普及と大会の開催　④ホームページでの熊谷ラグビー情報の発信
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	32,604	41,072	9,442	16,619	0	0	0
事業費	8,525	17,568	9,442	16,619	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,525	17,568	9,442	16,619	0	0	0
人件費計	24,079	23,504	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.00	2.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-05-01-00-00	ラグビータウン熊谷推進事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1070000　総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号　00007　ラグビータウン熊谷推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
全国高等学校選抜ラグビー大会の観客数	人	18,850.00 12,300.00	18,850.00 12,750.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
スポレク・タグラグビー大会の参加チーム数	チーム	60.00 70.00	70.00 69.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
公式戦ポスターの応募者数	人	600.00 795.00	700.00 844.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ			
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ			
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由	まちづくりの中核をなすため、市で行う必要あり			
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ			
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　00005　スカイスポーツフェスタ事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	002　スポーツツーリズムを推進する				
施策	002　スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する				
施策達成課題	001　スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する				
基本事務事業	001　スカイスポーツフェスタ事業				
詳細事務事業	001　スカイスポーツフェスタ事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要綱				
課題・分析	コロナ禍以降（令和５年以降）、参加団体数の減少により規模縮小開催となっている。スカイスポーツフェスタ実行委員会によると以前の実施規模に戻したい意向があるようだが関係団体協議中となっている。				

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	昭和38年に開設以来、飛行回数と飛行時間が共に日本一を誇り、グライダーの聖地として知られる妻沼滑空場を舞台に、埼玉スカイスポーツフェスタを開催し、グライダー、気球などの体験搭乗会等を実施し、空のスポーツとしてのグライダーの魅力をアピールする。
手段	（一社）熊谷市観光協会に補助金を交付し、イベント開催を支援する。 メディアに対する積極的な情報発信を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	596	1,264	1,640	1,640	0	0	0
事業費	367	1,027	1,640	1,640	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	367	1,027	1,640	1,640	0	0	0
人件費計	229	237	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-40-01-00-00	スカイスポーツフェスタ事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　00005　スカイスポーツフェスタ事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
開催回数	回	1.00 1.00	1.00 1.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
参加者数	人	6,000.00 300.00	6,000.00 300.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　01577　グライダー推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	002　スポーツツーリズムを推進する				
施策	002　スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する				
施策達成課題	001　スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する				
基本事務事業	003　グライダー推進事業				
詳細事務事業	001　グライダー推進事業				
事業期間	平成29年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	市有グライダーによる市民対象の体験搭乗会を２回開催。グライダーの魅力をアピールするとともに、市有グライダーの維持管理を行う。				

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	昭和３８年開設以来、飛行回数と飛行時間が共に日本一を誇り、グライダーの聖地として知られる妻沼滑空場で、市有グライダーによる市民対象の体験搭乗会を開催し、グライダーの魅力をアピールするとともに、市有グライダーの維持管理を行う。
手段	「公益財団法人日本学生航空連盟」や「めぬまグライダークラブ」等との連携を図る。
その他	「公益財団法人日本学生航空連盟」や「めぬまグライダークラブ」の支援を行うとともに、市有グライダーの維持管理を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	2,393	6,029	1,921	1,743	0	0	0
事業費	1,399	1,762	1,921	1,743	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	223	218	0	0	0
一般財源	1,399	1,762	1,698	1,525	0	0	0
人件費計	994	4,267	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-46-01-00-00	グライダー推進事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　01577　グライダー推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
グライダー搭乗会	回	2.00 2.00	2.00 2.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
グライダー搭乗者	人	30.00 26.00	30.00 24.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	グライダー市民搭乗会の安全な運航管理のため、１回あたりの市民搭乗会募集人数を１５名から１０名に変更した。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　1010000　総合政策部企画課　　担当者
短縮番号　01555　ふるさと熊谷応援寄附金推進事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	018　ふるさと熊谷応援寄附金推進事業				
詳細事務事業	001　ふるさと熊谷応援寄附金推進事業				
事業期間	平成28年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	地方税法第37条の2、第314条の7、所得税法第78条				
課題・分析	多くの自治体が本制度を利用する中、寄附を受け入れるには、引き続き返礼品の開発に加え、広報力、共感を得られる寄附の使途の設定などが必要となっている。 しかし、H29年4月に総務省が全国の自治体に対して、返礼品は3割以下とすること、高価な返礼品を取りやめることなどを求めて以降、ふるさと納税制度が厳格化している。R6年度には、体験型返礼品に地域との関連性が求められ、1つの返礼品が取り下げとなった。今後もさらなる制度変更が見込まれるため、寄附額を伸ばす手法を探りつつ対応をしていく必要がある。				

【事業分析】

対象	１回１万円以上の寄附を行った、市外在住の個人
目的	ふるさと納税を通じて、地域振興と本市の魅力を全国にＰＲする。また、寄附による新たな財源確保を図る。
手段	①ふるさとチョイス、楽天 ②返礼品の開発、選定、生産者との調整及び発送委託（一般社団法人熊谷市観光協会に委託）
その他	寄附件数・金額【H28】1,202件：2934万7088円、【H29】731件：1726万1000円　【H30】760件：2549万3000円、【R1】859件：2350万337円、【R2】912件：4332万1,340円　【R3】1,352件　4222万4314円　【R4】1,304件　5314万円　【R5】1,022件　5130万5000円　【R6】1,024件　5966万9500円

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	25,623	34,388	29,415	29,284	0	0	0
事業費	21,416	24,592	29,415	29,284	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	21,416	24,592	29,415	29,284	0	0	0
人件費計	4,207	9,796	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.55	1.24	1.16	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-64-01-00-00	ふるさと熊谷応援寄附金推進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　1010000　総合政策部企画課
短縮番号　01555　ふるさと熊谷応援寄附金推進事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
寄附金額	千円	41,500.00 51,305.00	70,000.00 59,669.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）	令和7年度にふるさと納税ポータルサイトを新規に追加し、寄附額の増加を図る。これに伴い、寄附件数が増加することで手数料等に要する経費も増額を見込む。		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　00014　観光振興事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	022　観光振興事業				
詳細事務事業	001　観光振興事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		
根拠法令等					
課題・分析	加盟している協議会等との連携を図る必要がある。				

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	観光振興業務の円滑な推進を図り、熊谷への誘客を目指す。
手段	埼玉県物産観光協会等の主催する観光キャンペーンへの参加
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	5,445	6,077	17,990	8,758	0	0	0
事業費	3,457	3,786	17,990	8,758	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,457	3,786	17,990	8,758	0	0	0
人件費計	1,988	2,291	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.26	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-02-01-00-00	観光振興事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　00014　観光振興事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
熊谷市観光入込客数	人	4,548,000.00 3,411,560.00	4,548,000.00 2,956,168.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
Ｗｉ－Ｆｉアクセス数	件	168,000.00 76,618.00	168,000.00 71,953.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
Ｗｉ－Ｆｉ利用者数	人	100,000.00 45,334.00	100,000.00 39,581.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	wi-fi更新工事完了、案内所光熱水費減少に伴うもの		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　進捗区分　２次評価　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　担当者
短縮番号　00016　星川環境整備事業　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	024　星川環境整備事業				
詳細事務事業	001　星川環境整備事業				
事業期間	平成21年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	【課題】 ・景観を維持するため、取水期及び渇水期ごとに堰板の取り外しをして管理する必要がある。 ・鯉については、撒餌の頻度について適正化を図る必要がある。 【分析】 ・堰板を入れた状態での適正水位を模索することで、年間を通して画一的な運用とする。 ・状況を観察して、鯉の餌の頻度を適正化する。				

【事業分析】

対象	星川及び星川通り
目的	熊谷市の中心街の中核的観光施設である星川シンボルロードの維持管理、環境整備を行う
手段	地域団体への働きかけ等を通じて、星川の適切な維持管理を図る
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	3,550	2,123	817	3,555	0	0	0
事業費	567	1,254	817	3,555	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	428	0	0	0	0
一般財源	567	1,254	389	3,555	0	0	0
人件費計	2,983	869	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.39	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-51-01-00-00	星川環境整備事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　00016　星川環境整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
作業日数	日	76.00	48.00	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		76.00	48.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　00881　ふるさと熊谷の祭り応援基金積立事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	025　ふるさと熊谷の祭り応援基金積立事業				
詳細事務事業	001　ふるさと熊谷の祭り応援基金積立事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	ふるさと熊谷の祭り応援基金条例				
課題・分析	ふるさと熊谷の祭り応援基金条例に基づく寄附金を積み立てるもの。				

【事業分析】

対象	熊谷うちわ祭をはじめとする、本市の伝統的な祭りの支援のため、広く市民から、寄附金を募る。
目的	基金への積み立てを行い、熊谷のふるさとの伝統的なお祭りを、活気ある魅力的なお祭りにするための原資とする。
手段	ホームページなどで「ふるさと熊谷の祭り応援基金」の周知を行う。寄附をしていただいた方に、熊谷の祭りの象徴である「うちわ祭」の渋うちわを贈呈する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	727	1,416	68	70	0	0	0
事業費	498	705	68	70	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	497	704	67	69	0	0	0
一般財源	1	1	1	1	0	0	0
人件費計	229	711	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.03	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-13-01-00-00	ふるさと熊谷の祭り応援基金積立事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　00881　ふるさと熊谷の祭り応援基金積立事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
寄附件数	件	15.00 21.00	15.00 33.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　01566　観光協会運営支援事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	038　観光協会運営支援事業				
詳細事務事業	001　観光協会運営支援事業				
事業期間	平成29年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要綱				
課題・分析	コロナ禍からの回復、観光案内所開設に伴う、各種観光事業への対応要請が顕著である。				

【事業分析】

対象	一般社団法人熊谷市観光協会
目的	本市観光事業の中心組織となる観光協会の運営を支援し、観光客の誘致及び交流人口の増大を図る。
手段	一般社団法人熊谷市観光協会へ補助金の支出
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	39,364	42,145	48,377	48,938	0	0	0
事業費	35,310	38,590	48,377	48,938	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	35,310	38,590	48,377	48,938	0	0	0
人件費計	4,054	3,555	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.53	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-44-01-00-00	観光協会運営支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　01566　観光協会運営支援事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
観光入込客数	人	4,548,000.00 3,411,560.00	4,548,000.00 2,956,168.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　01589　「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	039　「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業				
詳細事務事業	001　「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業				
事業期間	平成29年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要綱				
課題・分析	コロナ禍から観光客数は回復傾向にあるが、イベント規模維持のためには、物価上昇による対策を各所で要している。				

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	本市の観光振興を図るため
手段	（一社）熊谷市観光協会が支援する各種伝統行事等に対する運営の補助を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	78,320	80,111	72,660	75,815	0	0	0
事業費	65,700	71,500	72,660	75,815	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	65,700	71,500	72,660	75,815	0	0	0
人件費計	12,620	8,611	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.65	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-49-01-00-00	「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　01589　「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
観光入込客数	人	4,548,000.00 3,411,560.00	4,548,000.00 2,956,168.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　00396　妻沼市街地活性化事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	048　妻沼市街地活性化事業				
詳細事務事業	001　妻沼市街地活性化事業				
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	市営めぬま観光駐車場トイレ（坂田医院旧診療所・井田記念館）、聖天山トイレ（境内１ヵ所・駐車場１ヵ所）、花埋み観光トイレ（日本学生航空連盟妻沼訓練所敷地内）の維持管理や坂田医院旧診療所等の環境整備を熊谷市シルバー人材センターに業務を委託している。常に環境が整備された状況を維持するには職員が直営で行う場合がある。				

【事業分析】

対象	市民団体、商店街及び観光客
目的	歓喜院聖天堂、坂田医院旧診療所、井田記念館等各施設の有効活用を図るとともに、商店街をはじめ地域の活性化につなげる。
手段	くまがや市商工会と協力し、市営めぬま観光駐車場の有効利用を図る。。 地元商店街の活性化や市民ボランティアの活躍等、観光客受け入れ体制の充実を図りながら聖天山周辺及び妻沼市街地におけるイベント等に対し、協力・協働する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	5,829	7,856	6,952	10,579	0	0	0
事業費	5,600	6,000	6,952	10,579	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	10	10	10	10	0	0	0
一般財源	5,590	5,990	6,942	10,569	0	0	0
人件費計	229	1,856	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.03	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-51-01-00-00	妻沼市街地活性化事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　00396　妻沼市街地活性化事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
観光入込客数	人	4,548,000.00 3,411,560.00	4,548,000.00 2,956,168.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	5
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	施設関係の修繕費用の増		

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　02049　熊谷グルメイベント実施事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	057　熊谷グルメイベント実施事業				
詳細事務事業	001　熊谷グルメイベント実施事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要綱				
課題・分析	課題 ・プレスリリースだけでなく、広報に工夫が必要であった。 分析 ・庁舎内サイネージにうどんPR動画を公開し、食品サンプルを利用するなど新たな媒体でイベント対象の啓発を行った。				

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	本市のグルメのＰＲと商業振興
手段	イベントの開催支援及びホームページやチラシ作成・配付
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	6,988	5,540	2,500	2,500	0	0	0
事業費	5,000	4,750	2,500	2,500	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,000	4,750	2,500	2,500	0	0	0
人件費計	1,988	790	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.26	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-28-01-00-00	熊谷グルメイベント実施事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　02049　熊谷グルメイベント実施事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
入場者・参加者数	人	2,000.00 3,000.00	3,000.00 4,000.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	3
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント （４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　02053　戦略的人流データ活用事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	058　戦略的人流データ活用事業				
詳細事務事業	001　戦略的人流データ活用事業				
事業期間	令和 5年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	これまではイベントにおける効果検証が不十分であった。携帯電話の位置情報や属性データ等を分析することにより、EBPM（証拠に基づく施策立案）の推進に資することができる。				

【事業分析】

対象	市民、来街者
目的	まちなかを居心地が良く、快適な環境にするための施策を検討する際の基礎資料とする。
手段	携帯電話の位置情報等のデータを取得し、分析する。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	2,506	19,313	15,677	2,277	0	0	0
事業費	2,277	15,679	15,677	2,277	0	0	0
国庫支出金	0	0	6,700	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,277	15,679	8,977	2,277	0	0	0
人件費計	229	3,634	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.03	0.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-62-01-00-00	戦略的人流データ活用事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　02053　戦略的人流データ活用事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
観光入込客数		4,548,000.00	4,548,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3,411,560.00	2,956,168.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	3
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	事業縮小	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	市域の混雑度分析・まちなか人流分析の完了によるもの。		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業縮小	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　02074　観光ＰＲ階段アート事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	061　観光ＰＲ階段アート事業				
詳細事務事業	001　観光ＰＲ階段アート事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	無				
課題・分析	イメージアップの向上に寄与するため、毎年異なったデザインの観光、スポーツステッカーによりＰＲを行う。				

【事業分析】

対象	市民・市外の方
目的	市民の方へスポーツ情報を発信し、スポーツによるまちづくりを推進するとともに、スポーツイベント等で本市を訪れた方に観光イベント情報等をPRし、スポーツ以外の本市の魅力をPRすることを目的とする。
手段	情報発信
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	1,427	2,050	1,500	1,500	0	0	0
事業費	1,198	1,181	1,500	1,500	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,198	1,181	1,500	1,500	0	0	0
人件費計	229	869	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.03	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-15-01-00-00	観光ＰＲ階段アート事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　02074　観光ＰＲ階段アート事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
観光入込客数	人	4,548,000.00 3,411,560.00	4,548,000.00 2,956,168.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	3
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　02256　熊谷駅観光案内所整備事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	064　熊谷駅観光案内所整備事業				
詳細事務事業	001　熊谷駅観光案内所整備事業				
事業期間	令和 6年度 ～ 令和 6年度	1　年間			
新規継続区分	新規	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	従来の観光案内所は、駅連絡所と併設運用されており、案内所立地としては、分かりづらく、目立たない、という意見があった。主要業務は案内のみ、積極的な観光ＰＲ等ができなかった。				

【事業分析】

対象	来訪者及び市民
目的	鉄道玄関口の利便性を活かした広域案内、物産品の販売、展示他サービス拡充によるおもてなしの強化を図る。
手段	駅構内「ぴゅうプラザ」跡地に観光案内所を整備。観光協会事務所を併設し、観光拠点として、人材の活用、情報収集、発信の強化を行う。
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	69,506	0	0	0	0	0
事業費	0	61,764	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	61,764	0	0	0	0	0
人件費計	0	7,742	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.98	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　02256　熊谷駅観光案内所整備事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
設計施工業務委託工程	%	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	1
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	手段変更	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）	案内所整備は令和6年度で完了。整備後の運営経費（家賃、光熱費）は「観光振興事業」にて計上。		

【２次評価結果】

事業の方向性	事業完了	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			

事務事業評価シート１

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価　　所属長名
所属　3510000　産業振興部商業観光課　　担当者
短縮番号　02257　都市間産業連携事業　　電話番号

【基本情報】

計画次数	04　第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001　スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003　観光を推進する				
施策	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001　おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事務事業	065　都市間産業連携事業				
詳細事務事業	001　都市間産業連携事業				
事業期間	令和 6年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等					
課題・分析	誘客と観光振興を目的として、近隣都市間で連携を深める施策を行う必要がある。				

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	本市の観光振興を図るため
手段	刀水橋花火大会の開催
その他	

【コスト】　（単位：千円）

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額
トータルコスト	0	6,500	6,500	6,500	0	0	0
事業費	0	6,500	6,500	6,500	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	6,500	6,500	6,500	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート２

評価年度　令和 6年度　　進捗区分　２次評価
所属　3510000　産業振興部商業観光課
短縮番号　02257　都市間産業連携事業

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
観光入込客数	人	0.00 0.00	4,548,000.00 3,411,000.00	4,548,000.00 0.00	4,548,000.00 0.00	4,548,000.00 0.00	4,548,000.00 0.00	4,548,000.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点		基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由				

【１次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
１次コメント（４００文字）			

【２次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
２次コメント（４００文字）			